

No.6 キーワード： 乾田直播、播種同時施肥・追肥省略、防除回数削減

(有)アースファーム
青森県上北郡七戸町

基本情報

- ・ 気候：夏季冷涼
- ・ 土質：砂質～粘土質
- ・ 従事人数：5人（内雇用1名）
- ・ 臨時雇用：なし
- ・ 飼料用米の作付開始：H27年産

品目	作付面積	平均区画
主食用米（移植）	3ha	20～25a
主食用米（直播）	28ha	20～25a
飼料用米（直播）	7ha	20～25a
大豆	62ha	—

経営方針（重視・優先していること、こだわり等）

- ・ 限られた労働力でも大規模経営が可能な水稲と大豆を作付け
- ・ 直播栽培での収量は移植対比90%が目標（26年度は480kg/10aで移植対比89%）
- ・ 水稲の省力、低コスト化と大豆の適期播種のために「不耕起V溝乾田直播」を導入
- ・ 家族労働力4名＋雇用1名により経営可能な規模で取り組む

稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

- ・ 肥料（乾田直播）
 - ①肥料は窒素成分のみ施用し、リン酸、カリは不足ほ場のみ施用して過剰施肥を抑制
 - ②肥効調節型肥料（LPS40日タイプとLP70日タイプ）の自らの独自配合により、追肥作業を省略
- ・ 農薬（乾田直播）
 - ①直播栽培導入により育苗段階の農薬が不要
 - ②除草剤は茎葉処理剤の2回散布のみ（一発剤不使用）
 - ③いもち耐病性の強い品種の導入と色彩選別機の活用により、農薬の散布回数を必要最小限に抑制
- ・ 機械（乾田直播）
 - ①播種同時施肥で本田作業を省力化

導入効果

- ・ 施肥
PK成分削減や追肥省略により
肥料費 ▲約4割
播種同時施肥や追肥省略により
労働時間 ▲約8割
- ・ 防除
農薬散布回数の削減により
農薬費 ▲約3割
労働時間 ▲約1割

(県経営指標移植栽培3ha規模との比較)

支援体制

- ・ 試験研究機関主催の技術研修会や県主催の現地検討会等に参加し、V溝乾田直播の技術を習得
- ・ 試験研究機関等からの技術支援を受け取組を開始
- ・ 27年度からは県の「水田農業革新技術緊急普及事業」の実証ほとして、技術実証と普及拡大に取り組む

課題・今後の目標

- ・ 土質に応じた施肥設計
- ・ 土壌診断結果に基づいたリン酸・カリの補給
- ・ 水稲と大豆の輪作による、雑草の抑制と施肥量の削減
- ・ 除草剤の適期散布



乾田直播作業



乾田直播の生育状況